

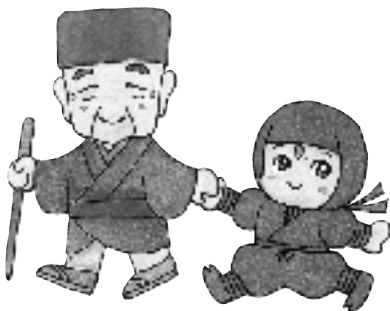


伊賀市 議会だより

No. 18
平成21年8月1日



夏の交通安全県民運動 出動式・啓発



ひとが輝く地域が輝く
～住みよさが実感できる自立と共生のまち～

主な掲載内容

- 議会報告会を開催しています・・・・・・・・・・ P 2
- ここが聞きたい 一般質問・・・・・・・・・・ P 3～P 7
- 常任委員会で審査しました・・・・・・・・・・ P 8
- 意見書提出・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9
- 審議した結果を公表します・・・・・・・・・・ P 10～P 11
- 議会のうごき等・・・・・・・・・・・・・・・・ P 12

議会報告会を開催しています



伊賀市議会では、市民に対し定例会や臨時会の審議内容等について情報を発信し、市民との意見交換の場を積極的に持つための一つとして、議会報告会を行っています。

この議会報告会は、伊賀市議会基本条例でも義務化されており、今年も7月からスタートし、10月と1月に下記日程で開催します。どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。（都合により、各地区に出席する班の議員が代わることもあります。）

班	議員名（◎班長）			地区名	開催日時	場 所
1	◎奥 邦雄	生中正嗣	中盛 汀	古山	7月18日(土) 19:00～	古山地区市民センター
				布引	7月25日(土) 19:30～	坂下公民館
				上野東部	10月4日(日) 14:00～	東部公民館
	北出忠良	中岡久徳		矢持	10月10日(土) 18:00～	矢持地区市民センター
				島ヶ原	10月23日(金) 19:00～	島ヶ原会館
				友生	10月27日(火) 18:00～	友生地区市民センター
				長田	1月19日(火) 19:00～	長田地区市民センター
2	◎空森栄幸	稲森稔尚	西澤民郎	阿波	7月6日(月) 19:00～	阿波地区市民センター
				上野西部	7月24日(金) 14:00～	上野西部地区市民センター
				桐ヶ丘	10月7日(水) 19:00～	桐ヶ丘多目的集会所
	中本徳子	馬場登代光		猪田	10月17日(土) 14:00～	猪田地区市民センター
				新居	10月20日(火) 14:00～	新居地区市民センター
				河合	1月8日(金) 15:00～	阿山支所
				花垣	1月14日(木) 19:00～	花垣地区市民センター
3	◎森岡昭二	上田宗久	百上真奈	上野南部	7月9日(木) 19:30～	上野南部地区市民センター
				阿保	10月9日(金) 14:00～	夢街道あお会館
				鞆田	10月23日(金) 19:00～	鞆田地区市民センター
	渡久山カナエ	岩田佐俊		依那古	1月12日(火) 18:00～	依那古地区市民センター
				三田	1月22日(金) 10:00～	三田地区市民センター
				ゆめが丘	未定	未定
4	◎森永勝二	近森正利	田山宏弥	小田	7月10日(金) 14:00～	小田地区市民センター
				玉瀧	7月24日(金) 19:00～	玉瀧地区市民センター
				諏訪	7月25日(土) 14:00～	諏訪地区市民センター
	前田孝也	坂井 悟		柘植	10月10日(土) 18:30～	柘植公民館
				比自岐	10月15日(木) 19:00～	比自岐地区市民センター
				上津	10月17日(土) 19:00～	上津地区市民センター
5	◎松村頼清	中井洸一	本城善昭	博要	7月17日(金) 14:00～	青山ハーモニーフォレスト
				神戸	7月27日(月) 19:00～	神戸地区市民センター
				丸柱	10月17日(土) 19:00～	丸柱地区市民センター
	桃井隆子			府中	10月20日(火) 19:00～	府中地区市民センター
				西柘植	未定	未定
				久米	—	—
6	◎今井由輝	中谷一彦	森 正敏	花之木	7月17日(金) 19:00～	花之木地区市民センター
				壬生野	10月6日(火) 19:00～	壬生野地区市民センター
				山田	10月8日(木) 19:30～	山田地区市民センター
	安本美栄子			中瀬	10月10日(土) 19:00～	中瀬地区市民センター
				きじが台	10月18日(日) 10:00～	きじが台集会所
				高尾	10月26日(月) 18:00～	岳の里会館

生中 正嗣 議員



・伊賀市校区再編計画について

質 問

伊賀市校区再編計画について

校区再編計画の基本的な考えと、仮称「北部小学校」建設予定地の不燃物処理場の地質調査及び今後の使用についてお訊ねします。

答 弁

可能なかぎり、計画に基づいて実施したい

平成16年に少子化と厳しい地方財政による行財政改革により、再編計画を立案し取り組んでいます。推進には地域住民の合意と参画が必要です。地質調査は未実施ですが、早急に調査したいと思います。処理場は開校後も、よう壁等を設けて適切に対応し、引き続き平行して処理を行いたいと考えています。



上田 宗久 議員



・伊賀市バイオスタウン構想について
 ・21年度予算「集中と選択」と合併の効果について

質 問

今後計画されている合併特例債の事業の予算規模は

「ランドデザイン」が4月に市民に示されましたが、今後続く大型プロジェクトの予算の規模について伺いしておきます。また、総務省が方向づけている近隣市との協力はどのようにお考えですか。

答 弁

現時点で示されている大型事業の規模は147.5億円です

駅前再開発事業では56億円の他に、現在の時点では庁舎で50.5億円、新芭蕉翁記念館で15.5億円、仮称南地区中学校で25.5億円が事業費ベースで見込まれています。近隣名張市との協議では消防をはじめ病院、ごみなどの広域連携で効率化を図っていく考えです。

第5回伊賀市議会定例会では、一般質問が6月12日から4日間行われ、17人の議員が市の諸問題について質問をしました。質問した項目と質問の一部を紹介します。

市政の ここが 聞きたい!



一般質問を行った議員

- ・生中 正嗣
- ・西澤 民郎
- ・上田 宗久
- ・稲森 稔尚
- ・今井 由輝
- ・森 正敏
- ・森永 勝二
- ・桃井 隆子
- ・森岡 昭二
- ・本城 善昭
- ・安本美栄子
- ・北出 忠良
- ・中谷 一彦
- ・奥 邦雄
- ・百上 真奈
- ・近森 正利
- ・中盛 汀

西澤 民郎 議員



・鳥獣害対策について
 ・農業集落排水事業について
 ・地域活性化経済危機対策臨時交付金の有効活用について

質 問

農業集落排水事業の整備促進を

未整備の処理区は11処理区ありますが、今後とも精力的な取り組みを求めます。

答 弁

事業化に向けて、地元協議を進めていきます

現在、上野地区の3地区で事業を進めていますが、それぞれ各支所においても未整備地区の事業推進を行っています。

特に、大山田支所管内の山田南処理区については、地元関係地区との協議を進めていますので、平成23年度に事業採択の予定です。



今井 由輝 議員



- ・福祉（少子化対策）
- ・産業建設（道路施策）
- ・産業（農林業施策）

質問

農林業施策 獣害防止事業について

美しい里山や農林業を守る為に、今大変重要な時。早急に取り組む支援策と、追い払いだけでは防止できない。捕獲し加工する施設などの支援は。

答弁

鳥獣害対策協議会や加工施設等に事業に応じて支援します

昨年度鳥獣害対策協議会ができ、里山を守り圃場と森林を守るために取り組む協議会にこれから予算化し支援していきます。支援率は今までの事業費の50%プラス、市として35%支援、合計85%で進めていきたいと思えます。加工施設等にも国の支援メニューを活用しながら支援していきます。



森永 勝二 議員



- ・消費税増税について
- ・同和事業、同和教育はすみやかに終結すること
- ・消費者庁設置に伴う市の取り組みは
- ・国民健康保険税が高すぎる
- ・生活保護について

質問

国民健康保険税が高すぎる

保険税を1人1万円下げのために必要な予算はいくらですか。また、国民健康保険法第44条に負担金の減免制度があり、現在1003自治体を実施しています。低所得者等の判定基準を持っているのは111自治体です。実施できませんか。

答弁

負担金の減免は考えていません

1人1万円下げためには2億5千3百万円必要です。また、負担金の減免については、他市の様子も見ながら進めたいと思えますが、今のところ考えていません。

稲森 稔尚 議員



- ・伊賀市の非正規職員に対する待遇について
- ・派遣労働者の「雇い止め」問題と市の取り組みについて
- ・介護現場で働く人の待遇改善と人材育成について
- ・JR新堂駅南口の活用について

質問

保育体制の充実を！臨時保育士の待遇改善を！

市立保育園の現場から、正規保育士が減らされ低賃金の臨時保育士が増えている、全く同じ仕事をしていても待遇面の格差が大きい、という声を聞いてきました。正規保育士の増員と臨時保育士の待遇改善に取り組むなど、子どもたちの「いのち」と「将来」を預かる保育体制の充実を図るべきです。

答弁

保育士を「定員適正化計画」の別枠とすることも検討します

市は職員削減を行う「定員適正化計画」を進めている中で、非正規職員の割合が増え、大変厳しい労働環境の中で頑張っておられることは認識しています。保育園について、現場の声を聞きながら、「計画」の別枠とすることも検討します。

森 正敏 議員



- ・観光行政について
- ・交通施策について
- ・定額給付金施策について
- ・下水道事業について

質問

プレミアム商品券の効果は

税金を投入して発売されたプレミアム商品券の効果は？「1人1回1セット」の原則が破られ、50セット100万円も購入し換金しているとの「うわさ」があります。しっかり調査すべきだと思いますがいかがですか。

答弁

一定の評価をしています

早期完売と、50%位が小売店で消化されたので、一定の評価をしています。「うわさ」は聞いています。当初、取り扱い店から誓約書を取って事業を始めたので不本意です。今後のこともあるので商工会議所、商工会へしっかりと注意をしておきます。



森岡 昭二 議員



- ・医療体制の充実について
- ・財政について
- ・環境整備について

質問

医療体制の充実を

上野総合市民病院の現状は、医師・看護師不足等の影響で市民サービスや運営面が年々低下しつつある実態であり、早急な市としての対応が必要と考えますが、市の対策は

- 1 現状認識を踏まえた基本的な考え方は
- 2 3次医療まで提供できる拠点病院建設の考えは
- 3 市長部局に医療政策課(室)の設置を
- 4 医師・看護師の待遇改善は

答弁

3病院で早期の協議へ

何らかの方策を早く打たなければならないと考えています。核となる病院は必要と考えます。3病院協議の中で早い時期に一定の方向性を出さなければならないと考えています。具体的な動きになれば担当部局が必要と考えます。待遇については他の病院との均衡を考慮し対応しています。

安本美栄子 議員



- ・住民自治を問う
- ・都市計画について

質問

自治会・自治協の組織一体化は

現在、二つ存在する住民代表組織である自治会・自治協について、特に長い歴史の中、地域住民との信頼関係を構築してきた機能を存続させながら、組織の一体化を図ることが望ましいと思うがいかがですか。

答弁

見直し議論を深めます

それぞれの自治会、自治協が地域づくりを進めるなかで、詰めた話をさせていただくと「どちらもやりにくい」との声があり、今後一体化も含めた見直しの議論を双方で深めていきたいと思っています。



桃井 隆子 議員



- ・伊賀の救急及び医療体制について

質問

22年度も救急体制堅持は可能ですか

医師不足等により21年度救急体制は当初6月分までしか組みませんでした。市民が安心できる救急医療を守ることが行政の責務です。どのような方策で市民に確実に安心できる救急医療を保証されるお考えですか。

答弁

来年度の存続は難しいと考えます

時間外2次救急での患者受け入れが一部不能となる可能性も視野に入れ、行政、議会、市民すべてが抜本的対策を早急に検討すべきと考えます。



本城 善昭 議員



- ・次世代育成支援について
- ・農業振興について
- ・安全・安心な生活環境について
- ・福祉サービスについて

質問

生産調整の在り方について

今、国では、需給調整の緩和や生産調整の支援策の縮小が論議されています。もし生産調整の緩和が行われた場合、米価の下落、過剰在庫の発生や、担い手などの経営崩壊が起きてきます。市としての基本的な認識をお尋ねします。

答弁

生産調整のシステムを維持しつつ新規戦略作物の取り組みが必要です

伊賀市の水田農業が一層発展するためには、安全で安心な売れる米づくりを基本に、生産調整システムを維持しながら、麦・大豆を始めとした新規戦略作物に取り組むことが必要と考えます。

中谷 一彦 議員



- ・土地開発公社について
- ・サンピアの土地取得について
- ・地区要望回答書について

質問

サンピアの土地取得について市議会の決裁が必要では

サンピア伊賀所有の伊賀市文化会館前の市認定道路部分及びスケートリンク場前駐車場部分を総額一億円余りで取得する件について、市議会の決裁が必要と考えますがいかがですか。

答弁

土地開発公社に土地取得を依頼し、議会には仮契約後に審議を願う

市行政としては必要であるとの認識で、伊賀市土地開発公社に土地取得を依頼するとともに、土地取得の為に必要な実施計画を策定中です。また、土地開発公社の保有している土地は市の依頼に基づき議員に予算の中で債務負担行為として議決を頂いて取得しています。今回は議会に仮契約後に審議をお願いしたいと考えています。

百上 真奈 議員



- ・保育について
- ・子どもの医療費無料化について
- ・特別天然記念物
オオサンショウウオについて
- ・地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用について

質問

待機児童の現状と解消のための対策を

0歳～2歳児に待機児童がいるとのことですが、現状と解消のための対策をお尋ねします。

答弁

当面、臨時保育士を雇用し、解消に向けて努力します

6月1日現在0歳～1歳児で35名の待機児童がいます。子育て支援、少子化対策は重要課題です。しかし国からの補助金は年々減り保育料と16億円の市費で保育所運営を行っています。国からの財源を強く求めながら対策を講じてまいります。当面、臨時保育士を雇用し、狭い部屋の改修もしながら解消に向けて努力してまいります。

北出 忠良 議員



- ・農政問題について
- ・介護問題について
- ・障害者の雇用促進について

質問

疲れています

伊賀市として、介護者に支 hands 手当を支給される考え方はあるのかお尋ねします。

答弁

介護者を対象とした手当はありません

支 hands 手当としては、寝たきり又は認知症の高齢者等の福祉の増進を目的とした手当があります。しかし、要介護者本人であり、介護者を対象としたものではありません。世帯単位で考えれば大きく違うというものではないと思いますので活用していただきたいと思います。



奥 邦雄 議員



- ・農業政策の課題について
- ・伊賀市交通計画について
- ・土木行政について
- ・地域に子育て支援住宅
(地域担い手住宅) 誘致は

質問

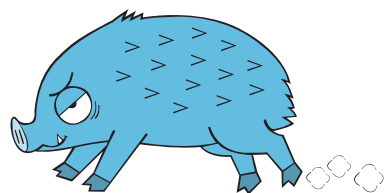
鳥獣害対策室を設置して捕獲を含め広域的に

鳥獣害は全市的になり、国の特別措置法に基づき、伊賀市も鳥獣害対策協議会を設立して、行政と地域が一体となって取り組むシステムを立ち上げ、29の地域が参加し、ソフト・ハードの面を含め進めるが、鳥獣害対策室を設置して捕獲を含め強力な推進を伺います。

答弁

鳥獣害対策室は必要に応じて考えます

鳥獣害の被害も拡大しています。市民ニーズに合ったハード事業を含め、必要に応じて対策室も考えます。



中盛 汀 議員



- ・ガン検診について
- ・各審議会での情報公開について
- ・職員の対応力向上について

質問

各審議会結果の情報公開に一定のルールを作るべき

審議会結果は市政の重要な情報で、公開が遅れていくとパブリックコメントへの市民参加に支障をきたします。

答弁

基準を定めます

政策調整会議を開き、所属ごとに大きな格差のないよう取り組んでいきます。



近森 正利 議員



- ・教育行政について
- ・観光振興について

質問

小中学校の通学交通費は市全額補助に

小中学校の通学費は、距離により異なります。義務教育としての観点、子育て支援として、市で交通費負担の検討をお伺いします。



答弁

検討は必要と考えるが現状難しい

各地区の基準地から学校までの距離を基準として小学校3キロ、中学校5キロ未満の場合は、徒歩、自転車通学圏内として、三重交通バス利用者に2割、伊賀鉄道利用者に3割補助とし、通学に適切な道が確保されていない場合は無料としています。負担公平の原則から検討は必要ですが、現状は難しいと思います。

議員永年勤続表彰を授与

平成21年5月27日開催された第85回全国市議会議長会において、下記の議員が議員永年勤続10年の表彰を受けました。これは、全国市議会議長会表彰規定により表彰されたものです。また、第92回東海市議会議長会定期総会においても、同様の表彰がありました。

議員永年勤続10年表彰
岩田 佐俊 議員

会派名及び構成議員の一覧

公明党	3人	◎中谷 一彦	近森 正利	渡久山カナエ
市民クラブ	3人	◎中盛 汀	本城 善昭	坂井 悟
新政クラブ	3人	◎上田 宗久	生中 正嗣	西澤 民郎
親和クラブ	3人	◎前田 孝也	奥 邦雄	桃井 隆子
爽政クラブ	4人	◎空森 栄幸	田山 宏弥	今井 由輝
		岩田 佐俊		
爽風クラブ	4人	◎松村 頼清	中井 洸一	森 正敏
		北出 忠良		
花水木	3人	◎森岡 昭二	中岡 久徳	馬場登代光
維新の会	3人	◎稲森 稔尚	中本 徳子	安本美栄子
会派に属さない議員	百上 真奈		(日本共産党)	
	森永 勝二		(日本共産党)	

議会政策討論会開催

伊賀市議会基本条例第12条第1項に基づき、議会政策討論会を設置しています。

議会政策討論会は議員全員で構成しています。また、話し合う市の諸問題を決めたり、会議の運営を行うため、各会派から選出された代表者は、幹事会を別に設置しています。

議題にしようとする案件を各会派内で取りまとめ幹事会に提出します。それらを協議し決定したものを、政策討論会で議員同士が意見交換を行います。

平成21年5月19日には、「庁舎建設問題について」と「新型インフルエンザについて」を意見交換しました。

《構成》

政策討論会幹事会会長（座長）	桃井 隆子
副会長（副座長）	松村 頼清
幹事	近森 正利
	西澤 民郎
	中岡 久徳
	本城 善昭
	田山 宏弥
	稲森 稔尚



各常任委員会では、第5回定例会において付託された議案9件、請願1件について審査を行いました。
主なものは、次のとおりです。

★ 常任委員会



契約の内容は、建築主体工事について、一般競争入札で1億3千9百69万2千円で落札した西村建設株式会社との工事請負契約の締結について議会の議決を求めるものです。

施設の概要は、軽量鉄骨造2階建、延べ床面積1千2百21.03㎡で、普通教室が6つ、特別教室が1つのほか、昇降口や配膳室などを備えた施設となっているとのことです。

▽委員からは、今後さらに児童数の増加が考えられるのか、またプレハブ建築かとの質疑がありました。
▼当局からは、平成25年度が児童数のピークと考えられるので、撤去等も視野に入れ、プレハブ建築としたとの答弁がありました。

審査の結果、本案は全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

請願

請願第1号

「細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化の早期実現を求める請願書」

審査にあたり、請願者から説明がなされました。

▽委員から、市としてHibワクチンについて広報しているのかとの質疑がありました。
▼当局から平成20年12月に国内で販売が開始されたことから、各病院では広報を進めているとのことであり、市としては、出生時の母子手帳証明時に窓口で周知しているとの答弁がありました。

審査の結果、請願第1号は全会一致で採択すべきものと決しました。



総務常任委員会

付託 議案1件

議案第79号

「消防ポンプ自動車の買い入れについて」

本案は、中消防署の水槽付消防ポンプ自動車を新しく購入しようとするものであります。本年1月点検時に水槽の水漏れを発見し、調査の結果、タンクの腐食による漏水で、修理見積りによると、腐食の程度がひどく、新品タンクの載せ換えが必要で、その費用は高額になり、なおかつ購入後16年を経過していることから、費用対効果を勘案した結果、最新装備の新規車両を購入するに至ったとのことです。

▽委員から車両に2,000リットルの水を積載することが可能というが、現場に着いてどの程度対応できるのかとの質疑がありました。

▼当局からは、火点まで直近し4分間程度の初期消火を行うことができ、その間に後続の車が放水体制をとる形になるとの答弁でした。

▽また、必要台数の基準はあるのか、伊賀市は何台かという質疑がありました。

▼当局からは、国の整備計画に基づいてポンプ自動車の配備が行われており、伊賀市は現在9台となっており、水槽付という制約はないが、場所によって4台配備しているとの説明がありました。

審査の結果、本案は全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

教育民生常任委員会

付託 議案8件
請願1件

議案第80号

「工事請負契約の締結について」

本案は、友生小学校において、児童の増加に伴い教室数の不足が見込まれるため、学校敷地内に校舎棟を増築するための工事請負契約を締結しようとするものです。

意見書を提出



伊賀市議会では、平成21年6月23日地方自治法第99条の規定により、衆参両院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣に意見書を提出しました。

細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化の早期実現を求める意見書

細菌性髄膜炎は、初期は発熱以外に特別な症状がみられないため、診断もむずかしく、重篤な状態となって初めてわかる怖い病気です。毎年約1000人も乳幼児がかかる病気で、死亡率5%、後遺症の残る率20%といわれています。

しかし、この病気の原因とされるインフルエンザ菌b型(Hib)と肺炎球菌にはすでにワクチンができ、世界保健機関(WHO)は1998年に世界中のすべての国々に対して、乳幼児へのHibワクチン無料接種を推奨しています。肺炎球菌について7価ワクチンが世界77カ国で承認され、このワクチンを定期接種化した国々では「細菌性髄膜炎は過去の病」となっており、アメリカでは発症率が約100分の1に激減したといわれています。

日本では、Hib ワクチンは2008年12月によく接種できるようになりましたが、まだ任意接種のため、4回接種で約3万円もかかり、子育て世代には大きな負担となっています。また7価ワクチンは乳幼児に接種できるものとしてはまだ認められていません。

Hibワクチンと7価ワクチンの公費による定期接種化が実現すれば、恐ろしい細菌性髄膜炎から子どもたちを守ることができます。ぜひ、1日も早く肺炎球菌ワクチンの承認と両ワクチンの公費による定期接種化が実現しますよう、以下の点について強く要望します。

記

1. 速やかにHib ワクチンを公費による定期接種化をすること。
1. 乳幼児が接種できる肺炎球菌(7価ワクチン)の早期承認と公費による定期接種化をすること。
1. 当面、Hib ワクチンについて乳幼児がいる世帯に周知徹底すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成20年度支出された政務調査費を報告します

住民ニーズの多様化とともに、地方議員には、住民の付託に応えるために広域的、専門的な知識が必要とされています。これらに対する不断の調査研究活動が求められ、議員個人としての活動が増えることから、政務調査費を個人支給として月額2万円を半期ごとに交付することとしています。

議員は規則で定める用途基準に従い、経理処理を明確に行い、政務調査費に係る収入及び支出の報告書を作成し、全ての領収書等の証拠書類を添付したうえで議長に提出します。また一年間の交付された総額から支出した経費の総額を差し引き、残余がある場合は、市に返還します。

20年度政務調査費の歳入歳出は次のとおりです。

市に請求した金額	7,800,000円(33人)
調査研究等に支出した金額	6,666,319円
市に返還した金額	1,133,681円



※詳しくは市議会のホームページに掲載しています。

議案等の審議結果をお知らせします。

臨時会

4月14日の第3回臨時会での提出案件は、市長提出議案5件、議員提出議案1件、5月26日開催の第4回臨時会での提出案件は、市長提出議案4件、議員提出議案1件でした。欠席：前田（議案第70号～73号 発議第2号）

議案番号	案 件	審議結果	審 議 の 詳 細
------	-----	------	-----------

■市長提出議案

議案第65号	監査委員の選任について	全会一致 可決	
議案第66号	専決処分の承認について 「伊賀市介護従事者処遇改善臨時特例基金 の設置、管理及び処分に関する条例」の制定	全会一致 可決	
議案第67号	専決処分の承認について 「伊賀市介護保険条例の一部改正」	起立多数 可決	賛成しなかった議員:森永・百上、稲森 反対理由:保険料が上がることに反対。(森永)
議案第68号	専決処分の承認について 「伊賀市市税条例の一部改正」	起立多数 可決	賛成しなかった議員:森永、百上、稲森 反対理由:一定の所得がある金持ち減税と言われる部分がある。(森永)
議案第69号	専決処分の承認について 「伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に 関する条例の一部改正」	全会一致 可決	
議案第70号	平成21年度三重県伊賀市国民健康保険事業 特別会計補正予算(第1号)	全会一致 可決	
議案第71号	平成21年度三重県伊賀市住宅新築資金等貸 付特別会計補正予算(第1号)	全会一致 可決	
議案第72号	伊賀市長期優良住宅の普及の促進に関する 法律関係手数料条例の制定について	全会一致 可決	
議案第73号	伊賀市長及び副市長の給与及び旅費に関す る条例等の一部改正について	起立多数 可決	賛成しなかった議員:森永、森岡、百上、稲森 反対理由:人事院勧告はルール違反。不況対策で 内需拡大による景気回復が求められるのに、つじ つまが合わない。(森永) 市は民間の給与実態を把握していない。県下で も伊賀市職員のラスパイレス指数が低い中で、結 論を急いで出すことに無理がある。(稲森)

■議員提出議案

発議第1号	伊賀市議会委員会条例の一部改正について	全会一致 可決	
発議第2号	伊賀市議会議員の議員報酬及び費用弁償等 に関する条例の一部改正	起立多数 可決	賛成しなかった議員：森岡

定例会

6月定例会での提出案件は、市長提出議案10件、議員提出議案1件、請願1件でした。欠席：前田（議案第74号～第83号、発議第3号）

■市長提出議案

議案第74号	伊賀市営共同浴場条例の一部改正について	全会一致 可決	
--------	---------------------	---------	--

議案第75号	伊賀市地区市民センター条例の一部改正について	全会一致 可決	
議案第76号	伊賀市立幼稚園条例の一部改正について	起立多数 可決	賛成しなかった議員:森永、百上、稲森 反対理由:保育料の値上げについて反対(百上)
議案第77号	財産の貸付について	起立多数 可決	賛成しなかった議員:中岡、安本、稲森 反対理由:地代8万円は安い、これから経営が上向きになる業者ではあるので、支援が必要。無償とすべき。(中岡) 民間の業者が行っている教育事業ですが、地域活性化や、人づくりに貢献しているので、行政の支援も必要。無償とすべき。(安本)
議案第78号	訴訟の提訴について	全会一致 可決	
議案第79号	消防ポンプ自動車の買入れについて	全会一致 可決	
議案第80号	工事請負契約の締結について	全会一致 可決	
議案第81号	ごみ燃料化施設 脱臭装置活性炭の買入れについて	全会一致 可決	
議案第82号	伊賀市指定ごみ袋(可燃ごみ)の買入れについて	全会一致 可決	
議案第83号	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致 同意	

■議員提出議案

発議第3号	細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種の早期実現を求める意見書(案)の提出について	全会一致 可決	
-------	--	---------	--

■請願

請願第1号	細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種の早期実現を求める請願書	全会一致 採択	
-------	----------------------------------	---------	--

視察者3000人を超えました



毎年、全国から多くの議員が各分野の調査のため、伊賀市へ行政視察に来られます。

特に、平成19年2月伊賀市議会基本条例の制定に伴い、本条例についての視察は、議員、職員を含め、先月で3000人を超えました。

この条例は、議員自らが「伊賀のゆたかなまちづくり」の実現に向け、議会の公正性、透明性を確保することにより、市民に開かれた議会、市民参加を推進する議会を目指し、活動を行う、あるべき姿を定めたものです。

先月7月10日、3000人目にあたる、大阪府中部市議会議長会(大阪府下河内地域、南河内地域の9市の市議会議長及び副議長による構成)が視察にお越しになりました。



議会のうそき

4月

- | | | |
|-----|--------------|--|
| 14日 | 臨時議会 | 議院全員協議会
議会運営委員会
議会運営委員懇談会
会派代表者会議 |
| | 議員全員懇談会 | |
| 17日 | 会派代表者会議 | |
| 20日 | 広報委員会 | |
| 23日 | 東海市議会議長会定期総会 | |
| 28日 | 会派代表者会議 | |
| 30日 | 広報委員会 | |

5月

- 8日 会派代表者会議
- 12日 議会政策討論会幹事会
- 14日 全国自治体病院経営都市議会協議会
- 15日 会派代表者会議
伊賀市名張市議員連絡協議会総会
- 19日 議会運営委員会
議会運営委員懇談会
議会政策討論会
- 20日 三重県市議会議長会定期総会
- 21日 議員全員懇談会
- 22日 伊賀南部環境衛生組合全協・臨時議会
- 25日 議員全員懇談会
議員全員協議会
- 26日 会派代表者会議
議会運営委員会
臨時議会
議員全員懇談会
- 27日 全国市議会議長会定期総会
- 28日 議会運営委員会

6月

- 4日 議会運営委員会
本会議（開会）
議会政策討論会幹事会
議会報告会班長会議
- 5日 議会運営委員会
- 9日 産業経済常任委員会出前講座
- 10日～15日 一般質問
- 10日 議会運営委員懇談会
- 11日 議員全員懇談会
- 15日 会派代表者会議
- 17日 総務常任委員会
産業経済常任委員懇談会
建設水道常任委員懇談会
- 18日 教育民生常任委員会
- 23日 議会運営委員会
議会運営委員懇談会
広報委員会
議員全員懇談会
会派代表者会議
- 26日 議会報告会班長会議

7月

- 10日 広報委員会
- 13日 議会政策討論会幹事会
- 14日 議会運営委員会

次の定例会は 9月1日(火)の開会予定です

9月25日(金)まで25日間の日程(予定)で開催します。

9月 1日(火)	本会議	(開 会)
7日(月)	本会議	(一般質問)
8日(火)	本会議	(一般質問)
9日(水)	本会議	(一般質問)
10日(木)	本会議	(一般質問)
11日(金)	決算特別委員会	
14日(月)	決算特別委員会	
15日(火)	予算特別委員会	
16日(水)	常任委員会	
17日(木)	常任委員会	
25日(金)	本会議	(閉 会)

※本会議は市役所2階市議会議場で開催されます。
※時間は、いずれも午前10時から開催の予定です。
※変更される場合もありますので文字放送でお知らせします。ご確認ください。

開かれた議会をめざして

議会を傍聴してみませんか

議会の会議は、どなたでも傍聴することができます。市民の皆さんが選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

9月定例会は午前10時からケーブルテレビでも生中継しています。(再放送は午後7時から)



議会だよりに関するご意見をお寄せ下さい

TEL 0595 (22) 9687
FAX 0595 (24) 7901

編集後記

6月議会も終わり、議会だよりにもとめると、なかなかすぐには皆様の手元に結果をお届けできないながらも、広報委員会で数回に亘る会議を持ち、やっと発行となりました。

今回から稲森議員が参画されました。次の議会が始まりますが、皆様に市政に関心を持っていただける情報をまとめていきますので、隅々までご覧いただければと願っております。(中盛)

